

あなたはこの映画の裏に潜る。

5.10 FRI ROADSHOW

中山麻聖 石田法嗣 小林涼子 毎熊克哉

水谷 豊 檻 ふみ 岸部一徳

監督・脚本: 水谷 豊 撮影監督: 会田正裕 (J.S.C.) 音楽: 佐藤 準

テーマソング: 手嶌 葵「こころをこめて」(ピクターエンタインメント)

製作総指揮: 早河 洋 製作: 亀山慶二 水谷耕夫 村松秀信 木下直哉 間宮登良松 山田裕之 エグゼクティブプロデューサー: 西 新 良井富夫 須藤泰司 Co.エグゼクティブプロデューサー: 佐々木 基

チーフプロデューサー: 島川博篤 プロデューサー: 進藤英明 菊池淳夫 西平教郎 アソシエイトプロデューサー: 青柳貴之 美術: 近藤成之 照明: 松村泰裕 錄音: 外森 強 装飾: 前田 亮 スタイリスト: 高橋正史

編集: 只野信也 (J.S.E.) スクリプター: 本因木純子 音響効果: 西村洋一 助監督: 井川浩哉 製作担当: 神田茂樹 鳥越道昭 ラインプロデューサー: 今村勝範 VFXプロデューサー: 戸枝誠實 プロデューサー補: 小川泰明 山下佳奈子 宣伝プロデューサー: 孤崎健二郎

映画「轢き逃げ」製作委員会: テレビ朝日 トライサム 東映 木下グループ 東映ビデオ ABCテレビ 製作プロダクション: 東映東京撮影所 東映テレビ・プロダクション 配給: 東映 ©2019 映画「轢き逃げ」製作委員会



HIKINIGE-MOVIE.COM

轢き逃げ — 最高の最悪な日 —

なぜ、愛する娘は
死んだのですか？

ここからを
生きていくために、
「真相」を知らないではいけなかった。



監督デビュー作となる映画「TAP -THE LAST SHOW-」の圧巻のダンス映像による青春群像劇から一転、水谷豊監督は本作で初となる脚本も担当し、普段他人に見せる事のない“人間の心の奥底”に切り込んでいく。主演の2人中山麻聖・石田法嗣をオーディションで選び、若手注目株の小林涼子・毎熊克哉を起用。檀ふみ、岸部一徳のベテラン勢とともに、密度の濃い極限の人間ドラマを作りあげた。エンディングを飾るのは、作品に寄り添う手嶌葵の優しい歌声。エンターテインメントの最前線に50年以上立ち続けている水谷豊監督の「新たなる世界」が今、生まれる。

あの場所で、何を捨てた? あの瞬間に、何を選んだ?

ある地方都市で起きた交通事故。

一人の女性が命を落とし、轢き逃げ事件へと変わる。
車を運転していた青年・宗方秀一、助手席に乗っていた親友・森田輝。

二人は秀一の結婚式の打合せに急いでいた。

婚約者は大手ゼネコン副社長の娘・白河早苗。

悲しみにくれる被害者の両親、時山光央と千鶴子。

時山は真実を求め奔走する。

事件を担当するのはベテラン刑事・柳公三郎と新米刑事・前田俊。

平穏な日常から否応なく事件に巻き込まれ、

それぞれの人生が複雑に絡み合い、抱える心情が浮き彫りになつていく。
2人の青年が逮捕され事件解決かと思われたが、「真相」はまだ深い闇の中にあつた…。

予測不能のサスペンスから深い感動へ、あなたを連れ去る。

5月10日 [金] 全国公開